

令和3年度事業計画書 — 認知症型デイいこい・ほほえみ —

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：利用者・家族にとって必要なサービスの安定した提供

1. その人らしさを重視し、安心して過ごせる場の提供

- ① チームミーティング内で発信された細かな気付きをケアの中に生かし、ケアの質を高める。
- ② 個別に様々なレク活動を提供し、利用者一人一人の残存能力を引き出せるよう支援する。
- ③ 長谷川式を定期的の実施することで、それぞれの認知機能状況を把握し対応していく。

2. 利用者の安心、安全な暮らしを支える

- ① R2年度の新型コロナウイルスへの対応より、課題を把握しマニュアル化し感染対策計画を実施する。
- ② 自然災害は情報を整理し優先業務や課題を把握後、防災計画に沿いシミュレーションを行う。
- ② 防災管理委員会、感染対策委員会で得られた情報を職員間で共有し、必要があれば利用者や家族にも発信していく。

3. 利用者と家族の思いに寄り添った支援の提供

- ① 早期受診の呼びかけ、虐待が疑われる際の相談、家族が抱える問題など、ケアマネと情報共有し、迅速かつ適切に対応する。
- ② 送迎時や連絡帳を活用し、家族とコミュニケーションを図り、日々の悩みなど家族の思いを汲み取れるよう努める。